Schatten Design
Better By Sound

Handmade Pickups For Acoustic Instruments 取扱説明書

シャッテンデザイン総輸入代理店：株式会社ティ・エム・シィ
本社 / 〒 550-0003 大阪市西区京町堀 2-5-16　Tel:06-6447-1215
東京営業所 / 〒 154-0016 東京都世田谷区弦巻 3-12-1　Tel:03-5426-4551
名古屋営業所 / 〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 2-14-4　Tel:052-218-7033
http://www.tmc-liveline.co.jp　contact@tmc-liveline.co.jp

この度はシャッテンデザインのアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。
本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

UST-1A Player アンダーサドル式アコースティックギター用アクティブピックアップの取り付け方法

注意

本製品はアコースティックギター専用アンダーサドル式ピエゾピックアップです。豊かで均一な信号を出力できます。最大 80mm 幅のサドルまで対応できます。

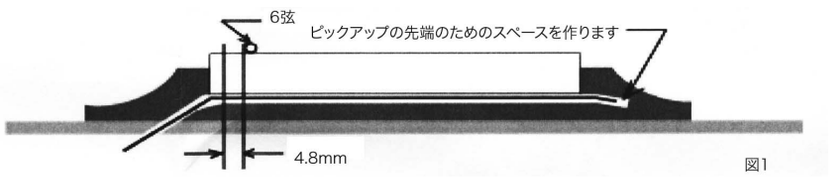

図1

1) UST ピックアップのピエゾケーブル素子は、直径 1.9mm です。サドルの傾きを防止するため 4.8mm 以上の深さのサドルの溝に取り付け可能です。
2) 終端からの 3.2mm は素子が有効ではありません。サドルの溝にほんのわずかに下向きに穴を開け、この部分の為のスペースを作って下さい。そのスペースが充分でない場合、1 弦の出力が弱くなる事があります。
3) 素子はグレーの樹脂でコーティングされています。コーティングを保護するために極力この部分を曲げない用にして下さい。
4) ピックアップが正常に作動するためには、サドルの溝の底とサドルは完璧にフラットである必要が有ります。ギターは弦のテンションにより多少変形している場合が有ります。その際にはサドルの溝の底をフラットになるように削る必要があります。

エンドピンジャック・プリアンプの取り付け用穴開け

1) 弦を全て取り外し、サドルも取り外します。
2) エンドピンジャック・プリアンプの取りつけには 1/2 インチ (12.7mm) の穴が必要です。今まで穴が空いていなかった場合には、1/2 インチのフォーストナー・ビットで最初の穴開けをする事をお勧めします。フォーストナー・ビットで出来るだけゆっくり塗装面とサイドの部分の穴開けをし、次に 1/2 インチのスペード・ビットでエンドブロックの部分を穴開けし、貫通させます。
3) これらのビットが入手できない場合には、通常の木工用ドリル・ビットで、細い穴を開け、順番に必要な太さの穴になるように太いビットで穴開けをして下さい。

エンドピンジャック・プリアンプの取り付け

注意：プリアンプの基板上に、プリアンプの最大出力レベルをコントロールするトリムポットが付いています。ゲインは 0dB から 20dB まで変更できます。初期設定は 6dB です。お使いのアンプシステムに応じて、ゲインを調整できます。

1) ストラップボタンを外し、外側のナットとワッシャーもジャックから取り外します。
2) サウンドホール内に手を入れ、プリアンプをエンドブロックに開けた穴に通します。ジャック部分は 8mm ほど外に出るようにして下さい。ワッシャーとナットを再びジャックに取り付けます。
3) ジャックが回転しないように注意しながら、ナットを締め、ストラップボタンを取り付けます。

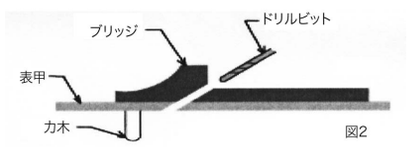

図2

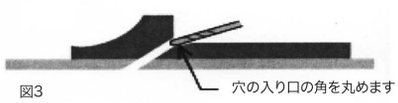

図3

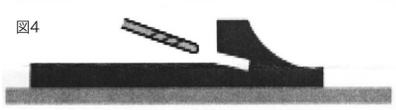
図4

ピックアップの取り付け

1) サドルの溝の 6 弦側の端にケーブルを通すための穴を開けます。穴の大きさは 3mm が推奨ですが、2mm 以上ならケーブルは通せます。溝の幅に合わせて変えて下さい。溝の端から斜めにブリッジ、表甲を貫通して力木を傷つけないように穴を開けます。
2) ピックアップが 90 度に折れ曲がらない事がベストですので、穴の入り口の角を丸めて下さい。その際に穴の角の丸めのスタート地点が、6 弦から距離が 4.8mm 以上離れているようにして下さい。図 1 と図 3 参照
3) ピックアップの先端のエレメントの無い部分のためのスペースを確保するために、高音側の溝の端に若干下向きに、低音側の穴と同じ直径で穴を開けます。穴の深さは 3.2mm 未満にして下さい。図 4 参照
4) ギターの内部に手を入れ、ピックアップを 1) で開けた穴からサドルの溝に通します。
5) ピックアップの先端を、3) で開けた穴に差し込みます。
6) バッテリーケースを両面テープとベルクロで取り付けます。サウンドホールから手の届くところにして下さい。通常はネックブロックかネックブロックの横に取り付けます。
7) 付属のケーブルホルダーで、ケーブルがぶらつかないようにして下さい。

サムホイール・ボリューム＆トーン

1) サムホイール付きのモデルの場合は、サウンドホールの低音側の内側の端の平らな部分に取り付けます。
2) 粘着パッドの剥離紙を剥がして、取り付け箇所に強く押しつけて固定します。
3) 付属のケーブルホルダーで、ケーブルがぶらつかないようにして下さい。

サドルの取り付け

1) 元の弦高にするために、サドルを 1.9mm 削ります。
2) ピックアップが正常に機能するためには、サドルは溝の中で自由に動ける状態でなければなりません。溝に引っかかるようではいけません。指で簡単に引き抜ける事を確認して下さい。
3) 弦を張ります。

取り付け後の注意

1) サドルを強く押して、ピックアップとサドルが正しいポジションに固定されるようにして下さい。
2) 弦と出力のバランスを確認して下さい。
3) 取り付け後、ピックアップが完全にフラットな状態になり、サドルの底と完全なコンタクトが取れるようになるのに最低 1 時間はかかります。
4) 一番最初の注意欄で述べた通り、サドルの底と、サドルの溝が完全にフラットでないと、ピックアップは正常に機能せず、出力が均一では無くなります。音の出力バランスが適切でない場合には、チェックしてみて下さい。